

平成 17 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏 名 ハフシ メッド

最終学歴	①LyonⅡ大学大学院博士課程 ②大阪大学大学院博士課程
取得学位	①臨床心理学のDESS ②学術博士
所属学会	①日本心理学会 ②日本心理臨床学会 ③日本精神分析学会 ④日本集団精神療法学会
現在の専門分野	①精神分析 ②心理療法 ③集団精神療法
研究課題	対象（対人）関係の類型とその病理に関する実証的・臨床的研究
<p><b>【研究上の特記事項】</b></p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
<p><b>【教育上の特記事項】</b></p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
<p><b>【社会的活動】</b></p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
<p><b>【学内活動】</b>（学内職歴を含む）</p> <p>社会学研究科研究科長、人間関係学科主任、学生相談室長、人事委員会委員、国際交流委員会委員、企画委員会委員、自己点検自己評価委員会委員、サッカー部顧問</p>	

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1				
2				
3				
4				
5				
(学術論文)				
1 Caught in the trap of projective identification: Enacting the group's basic assumption of dependency	単著	2006年4月	奈良大学大学院年報第11号	本稿では筆者はグループによる投影同一化という防衛機制の理解に関する独自の論説を提示している。その論説を例示するために、トレーナーとしての筆者が、投影同一の対象になった事例を呈示し、対象関係論、特にKleinとBionの観点から考察している。
2 The chemistry of interpersonal attraction: Developing further Bion's concept of valency	単著	2006年4月	奈良大学紀要第34号	本稿は、Bionに提唱された「原子価」という概念に関するものである。ここでは、まずこの概念を紹介し、筆者による原子価の類型と親和性に研究結果を記述し、原子価の心理起因に関する理論を提案している。
3 グループの投影同一化の罠に嵌った時～依存基底的想定を実行するトレーナーの事例～	単著	2006年	集団精神療法研究 (in press)	本稿の目的は、筆者の「原子価」という概念の更なる明確化、そして筆者による「マイナス原子価」という独自の概念と心理病理との関係に関する理論の紹介と考察を行うことであった。
4 対象関係の病理学を理解するための頂点としての「マイナス原子価」～あるマイナス依存原子価を持った男性の事例	単著	2006年4月	プシコフィリア研究第3号	本稿の主要なテーマは、筆者の「マイナス原子価」理論である。ここでは、筆者はマイナス原子価を示しているあるクライアントの事例を呈示し、その理論の妥当性に関する考察を提供している。
(学会発表)				
1 原子価のメタサイコロジーに関する一考察	単著	2006年4月	日本集団精神療法学会第23大会	本演では、「原子価」や「マイナス原子価」の両概念と、精神分析における対象関係論特にKleinとBion諸理論との関係を明確にすることと同時に、精神分析における「原子価」の位置づけについて論じている。
2				
3				
4				
5				
(その他)				
1 HAFSIゼミ論文集2004	共著	2005年3月	ハフシ研究室	これは、私の指導の下でゼミ生が2005年度に行った「原子価」に関する実証的研究を編集し、まとめた冊子である。
2 HAFSIゼミ論文集2005	共著	2006年4月	ハフシ研究室	これは、私の指導の下でゼミ生が2006年度に行った「原子価」に関する実証的研究を編集し、まとめた冊子である。
3				
4				
5				